



幹 事 連 絡  
令和 5 年 9 月 7 日  
午後 2 時 30 分

清水海上保安部  
(問合せ先)  
交通課長 深浦 勝弘  
電 話 : 0 5 4 - 3 5 5 - 0 2 2 5  
F A X : 0 5 4 - 3 5 5 - 0 2 2 6

## 広 報

### 夏季の海難発生状況（2023年7月、8月）《速報値》

夏季期間中の2023年7月1日（土）から8月31日（木）までの間、清水海上保安部管内※海域において発生した海難事故の発生状況は以下のとおりでした。

※ 御前崎海上保安署を含む。沼津市から湖西市に至る駿河湾及び遠州灘の海域

#### ● マリンレジャーに伴う人身事故：3人（前年比増減なし）

事故者3人は成人男性

死亡・行方不明者は、0人（2年連続）

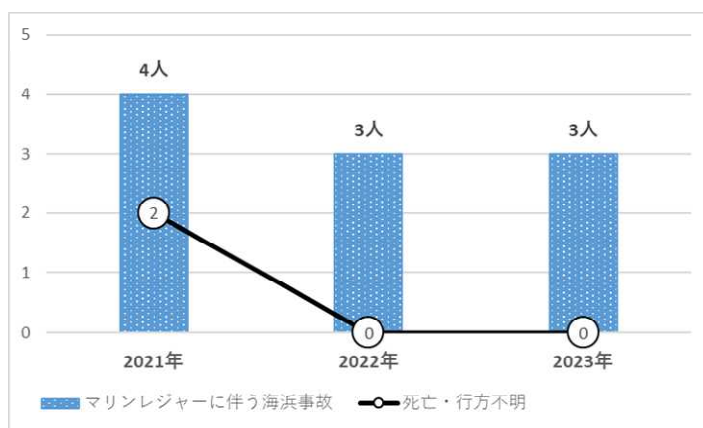
#### ● 船舶海難：13隻（前年比5隻増加）

プレジャーボートが増加（10隻、前年比3隻増）

死亡・行方不明者は、0人（2009年から14年連続）

#### マリンレジャーに伴う人身事故の発生状況

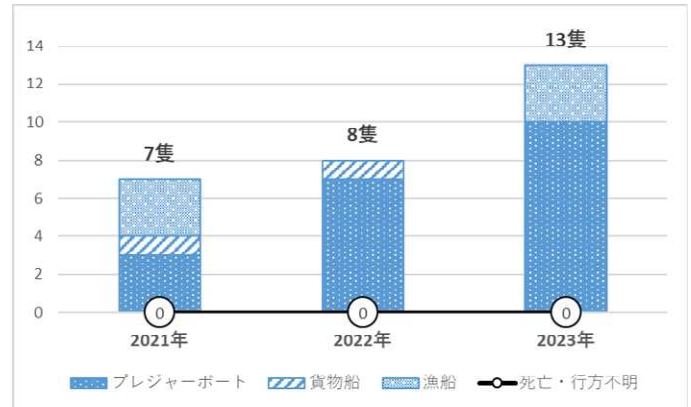
マリンレジャーに伴う人身事故は、マリンスポーツ実施中の成人男性3名のみでした。昨年多かった子供の事故は発生しておらず、マリンレジャーを楽しむ際にライフジャケットを着用するなど、安全に対する意識が広がっているものと考えられます。



## 船舶海難の発生状況

船種別では、プレジャーボート 10 隻（前年比 3 隻増）が全体の約 8 割を占め、過去 10 年では、同率で最多発生数。（2014 年 10 隻）となりました。

海難に遭ったプレジャーボート 10 隻中 6 隻は、釣り目的であったことから、ボートを使用した釣りが活発だったと考えられます。



## 今後の取り組みについて

清水海上保安部は、運航不能（バッテリー過放電、機関等の故障、荒天などで船舶の航行に支障を来した状態となる）、衝突が原因のプレジャーボート海難が増加する傾向にあることから、引き続き海難防止のため、講習会、パトロールなどの機会を捉えて「自船の安全確保 3 か条」の徹底を呼び掛けます。

### （自船の安全確保 3 か条）

#### その 1 発航前、機関や燃料等の点検実施

出港前は、船体とエンジンの周り、燃料の量、バッテリーの状態を点検すると共に最新の気象海象、航走区域の情報を確認しましょう。

#### その 2 航行時、常時見張りの徹底

航行中は、他の船舶の動向や浅瀬、定置網など周囲の海域を継続して確認する必要がありますので、常時見張りを実施しましょう。

#### その 3 故障時に備え、救助支援者の確保自船の安全確保

事故で最も多いのが機関故障です。出港する際には万が一の事態に備えて、仲間の船やマリーナ等の救助艇による救助体制を確保しておきましょう。また、併せて、帰港時刻などを家族やマリーナ等に連絡しておきましょう。

また、これから秋になると釣りシーズンに入っていくので、

「自己救命策 3 つの基本」（①ライフジャケットの着用、②連絡手段の確保、③緊急時における 118 番通報の実施）

に併せて以下の事項についても呼び掛けます。

- ①無理をしない
- ②単独行動をしない
- ③立入禁止区域に入らない
- ④釣行計画を第三者に伝える